

令和4（2022）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	中小企業論（Small and Medium-sized Enterprise） 393119-14300					担当教員	権 五景 （グオン オーギョン）		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単 位 数	2	配当年次	3年次	開講期	前期
科目特性	学生参加型 AL								

① 授業のねらい・概要
<p>中小企業は企業数で日本の産業全体の99%以上、従業員数で66%という高いシェアを占めており、日本経済や産業を語る上で欠かせない存在である。ところが、中小企業の多くは資金不足と人材不足などの中小企業問題を抱えている。そして、その背景には規模の不経済の問題が隠れているが、その解説と対策を講義していく。また、日本の中小企業が日本経済の発展にどのように貢献してきたか、グローバル化は日本の中小企業にどのような影響を与えているか、どのようにしていくべきかについて講義と議論を並行しながら進行していきたい。そして、米国の創業教育も紹介し、授業中に2つのプロジェクトを実施していく。授業の水準は基礎応用の水準である。</p>
② ディプロマ・ポリシーとの関連
職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力
③ 授業の進め方・指示事項
復習を兼ねた質疑が多い。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
ミクロ経済学
⑤ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
<p>(i) 「規模の経済」の視点から、「中小企業問題」に関して説明することができる。</p> <p>(ii) 中小企業ならではの長所、役割を活かした事例を3つ以上説明することができる。</p> <p>(iii) 「地域資源の活用主体」、「地域格差縮小の担い手」となった中小企業の事例を3つ以上説明することができる。</p>
⑥ テキスト（教科書）
安田武彦編著『中小企業論—組織のライフサイクルとエコシステム—』同友館
⑦ 参考図書・指定図書
なし

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S 到達目標を越えたレベルを達成している	A 到達目標を達成している	B 到達目標達成にはやや努力を要する	C 到達目標達成には努力を要する	D 到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 中小企業問題	「中小企業問題」について具体的な事例を挙げて、経済学の概念を使いながらと自分の言葉で他者に明確に説明できる。	「中小企業問題」について経済学の概念を使いながらと自分の言葉で他者に比較的わかりやすく説明できる。	「中小企業問題」について教科書や資料等を見ながら説明できる	「中小企業問題」について教科書や資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	説明に不正確な部分が多く、全体的文脈が説明できない。
(ii) 中小企業の長所	中小企業の長所について具体的な事例を挙げて、因果関係に基づいて自分の言葉で他者に明確に説明できる。	中小企業の長所について具体的な事例を挙げて説明できる。	中小企業の長所について教科書や資料等を見ながら説明できる	中小企業の長所について教科書や資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	説明に不正確な部分が多く、全体的文脈が説明できない。
(iii) 地域格差縮小の担い手	地域格差縮小の担い手としての中小企業について具体的な事例を挙げて、因果関係に基づいて自分の言葉で他者に明確に説明できる。	地域格差縮小の担い手としての中小企業について具体的な事例を挙げて説明できる。	地域格差縮小の担い手としての中小企業について教科書や資料等を見ながら説明できる	地域格差縮小の担い手としての中小企業について教科書や資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	説明に不正確な部分が多く、全体的文脈が説明できない。

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%		15%		20%	15%		100%
(i) 中小企業問題	20%		5%			5%		30%
(ii) 中小企業の長所	20%		5%		10%	5%		40%
(iii) 地域格差縮小の担い手	10%		5%		10%	5%		30%
フィードバックの方法	毎回の授業の冒頭にクラスルームの掲載内容（授業への参加・意欲）について触れていく。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
理解度を確認しながら、授業を進めていく。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	大人より大きい子供の運賃はなぜ半額？ —中小企業の基準、定義—	一つの疑問を持ってそれについて調べる。	60分
2	企業のライフサイクル的アプローチ	教科書を三読し、一つの疑問を持ってそれについて調べる。	60分
3	中小企業の誕生	教科書を三読し、一つの疑問を持ってそれについて調べる。	60分
4	中小企業の発展	教科書を三読し、一つの疑問を持ってそれについて調べる。	60分
5	中小企業の成長と経営課題	教科書を三読し、一つの疑問を持ってそれについて調べる。	60分
6	グローバル化下の中小企業の企業間連携	教科書を三読し、一つの疑問を持ってそれについて調べる。	60分
7	集積の理論と実体	教科書を三読し、一つの疑問を持ってそれについて調べる。	60分
8	中小企業の経営権と借金を含めた所有権	教科書を三読し、一つの疑問を持ってそれについて調べる。	60分
9	中小企業のM&A	教科書を三読し、一つの疑問を持ってそれについて調べる。	60分
10	中小企業の金融の現状	教科書を三読し、一つの疑問を持ってそれについて調べる。	60分
11	貸出金利が上がるほど貸出量は減る？	教科書を三読し、一つの疑問を持ってそれについて調べる。	60分
12	中小企業政策は過度な市場介入なのか	教科書を三読し、一つの疑問を持ってそれについて調べる。	60分
13	地域間格差縮小の担い手としての地域中小企業	教科書を三読し、一つの疑問を持ってそれについて調べる。	60分
14	学生たちによる発表（Ⅰ）	配布資料を三読し、一つの疑問を持ってそれについて調べる。	60分
15	学生たちによる発表（Ⅱ）と振り返り	配布資料を三読し、一つの疑問を持ってそれについて調べる。	60分

⑫ アクティブラーニングについて

授業の進行方法は講義と復習を兼ねた簡単な質疑応答で構成される（知識定着・確認型 AL）。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性